

淑女検定

✓ チャレンジテーマ

つまみ細工

かんざしなどに使われるちりめんで作った小さな飾り、つまみ細工。江戸時代から日本の女性たちに愛されてきた。優しい風合いの小さな花びらには和の心が宿る。今、静かなブームになっているという。

問題 1 つまみ細工の「つまみ」は何に由来する？

- A. ピンセットでつまむから
- B. つまみ縫いをするから
- C. おつまみのようだから
- D. 妻が美しく見えるから



問題 2 標準の布の大きさは3cm四方。基本の梅の花を作る時は何枚使う？

- A. 1枚
- B. 2枚
- C. 5枚
- D. 10枚



問題 3 つまみ細工のかんざしによく用いられる「揺らめく花飾り」を何という？

- A. 藤上がり
- B. 藤下がり
- C. 藤揺れ
- D. 藤枝

SBS学苑
静岡校

今月の
先生



【暮らしを彩る つまみ細工】講師

加藤一代 かとう かずよ

つまみ細工工房小花日和主宰

小さな四角い布を折り畳んで作る伝統工芸。

かわいい小花で「使える小物」制作

SBS学苑静岡校
INFORMATION

5/27(日)

「静岡」特集!

静岡の名産など、静岡が世界に誇るものに関する講座、いろいろ。静岡県の魅力を再発見しましょう! 詳しくはお問い合わせください。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-282-1191

正解 & 解説

問題 1 → 正解 A

つまみ細工は布をピンセットでつまみながら形を作っていくのが特徴。針や糸は使わない。花びらの先が丸い「丸つまみ」と先が尖った「剣つまみ」の二つの技法がつまみ細工の基本。つまみ細工で作るのは花だけではなく、この技法で魚や鳥なども表現できる。接着にはでんぷんのりと木工用ボンドを併用する。ピンセットとのりしか使わないので、ちょっとした空き時間に作ることもできるのも、人気の秘密だ。

問題 2 → 正解 C

カット布1枚で花びら1枚ができるので、梅の花を作るには5枚が必要。つまみ細工は同じ大きさに切りそろえた正方形の布を何十色もそろえる。「準備に8割」と言われるほど布の用意に手間がかかる。「最初から全部自分で準備するのは大変なので、教室に通うことをおすすめします」と加藤先生。本来の伝統工芸では絹を使うが、手芸の世界では扱いやすいレーヨンちりめんが主。綿やオーガージーも使う。

問題 3 → 正解 B

垂れ下がり咲く藤の花をイメージして作られる藤下がり。かんざしにした時、揺らめく飾りがあると、女性らしさが一層引き立つ。着物の帯に挟んで飾っても美しい。花びら1枚ずつをひもにのり付けて作る。つまみ細工は組み方やバランスなど掘れば掘るほど奥深い世界。「最近では日本の文化が見直されつつあり、娘さんの七五三や成人式、結婚式にかんざしを手作りするお母さんが増えています」と加藤先生。